

ケーススタディ

Clearswift SECURE Email Gateway v3からv4へのアップグレード



脅威が進化増殖し続ける中、新たな脅威から防御するためにセキュリティ製品を最新版にアップグレードすることは極めて重要です

概要

英国に拠点を置く、ある大手の多国籍エンジニアリング企業は、スパムの検出率の減少に直面し、その結果、常に問題に対処するためにITリソースに余計な負荷がかかっていることに気がきました。

この会社では実際、10年間にわたりクリアスウィフト製品をお使いいただき、Clearswift SECURE Email Gatewayの旧版（SEG v3.8）を使用していました。老朽化するプラットフォームの運用にかかる諸経費を削減するために行動を起こしてITインフラをアップデートし、組織のデータ保護体制を向上させることを決定しました。

市場や様々なセキュリティソリューションの検証が行われました。クラウドは、比較的早い段階で検討リストから除外さ

れました。というのは、このお客様にとって重要な基準である、組織が求める管理およびセキュリティレベルを提供できなかったからです。調査したその他の製品もクリアスウィフトほどの柔軟性を有しておらず、クリアスウィフトのソリューションの価格は非常に手頃でした。

あるクリアスウィフトゴールドパートナーは、顧客が信頼する技術アドバイザーであり、顧客の要件を満たす選択肢の1つとして、経年劣化するサーバーの刷

新を提案するとともに、最新のSEG v4.4ソリューションを紹介しました。

クリアスウィフトの専門家の支援の下、アップグレードのプロセスが始まりました。スパムを減らすために顧客の既存のセキュリティ方針が検証されアップデートされ導入されました。しかも、顧客がSEG v4.4で手に入れたのはスパム検出率の向上だけにとどまらず、追加ツールとデータ紛失防止機能を活用することで、組織の重要な情報の保護を強化し、データ紛失のリスクを削減できました。

SEG v4.4へのアップグレードによる効果

- このお客様は、ほぼ完璧に近いスパム検出率（99%）を実現しました。
- 組織内に入りしよんとするフィッシングの試みやマルウェアに対する保護が強化されました。
- スパムの管理時間が実質的にゼロになり、その他の問題に集中できるようになったことで、ITチームの運用効率が大幅に向上しました。
- 最新版のSEGに組み込まれているデータ紛失防止機能により重要な情報の紛失リスクが減りました。
- シームレスにアップグレードできました。アップグレードプロセスにより業務が中断されることはありませんでした。

このような改善点に加え、SEG v3.8からv4.4へアップグレードすることにより、クリアスウィフトの専門家から顧客のIT運用チームへ幅広い知識の移転が実現し、最新版の製品新機能とその適切な活用方法を素早く学習できました。